対象：乳幼児をもつ保護者（学童期も可）

時間：８０分程度

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| ねらい | * 子ども一人ひとりの個性や発達の様子には、違いがあることを理解し、それぞれの存在の大切さを   　再認識する。   * 子どものいいところ・気になるところのとらえ方は人（保護者）それぞれであることに気付き、幅   広い見方で子どもに接することが大切であることを認識する。 | | |
| 実施のポイント  （評価など） | * 保護者同士が自分の子どもについていいところや気になっているところを自由に交流し合うこと   　ができるようにする。 | | |
| 事前準備 | ○　あらかじめ３～４人のグループに分けておく  ○　筆記用具　　○　ワークシート　　○　アンケート用紙（必要に応じて）  ○　資料　　○　付せん紙（青・黄）　　○　模造紙 | | |
| 時　間 | 学習活動 | 学習活動のねらい（◎）とポイント（・） | 準備物 |
| 10分  **導 入** | ・ワークの趣旨説明  ・３つの約束  ・アイスブレイク  （子どもの頃好きだった○○） | ・「子どもの頃好きだった○○」＋名前で自己紹介  をする。  ・平等、尊重、守秘 | ３つの約束 |
| 10分  **展 開** | **ワーク1**  ・自分が子どもだった頃の「いいところ」と言われて　いたところをグループで話し合う。 | ◎自分が子どもだった頃の「いいところ」と言われ  ていたところを共有することで、いろいろな個性があってもいいということに気付くことをねらいとする。  ・個人で付せん紙（黄）に書き出す。  ・グループ内で模造紙に付せん紙を貼り付けなが  ら、自由に話し合う。その際、似た意見の付せん紙をまとめる。 | 付せん紙（黄）  模造紙 |
| 15分 | **ワーク２**  ・「当時気にしていたところ」  「注意されていたところ」をグループで話し合う。 | ◎「当時気にしていたところ」「注意されていたと  ころ」も共有することで、いろいろな個性があってもいいということに気付くことをねらいとする。  ・個人で付せん紙（青）に書き出す。  ・グループ内で模造紙に付せん紙を貼り付けなが  ら、自由に話し合う。その際、似た意見の付せん紙をまとめる。 | 付せん紙（青）  模造紙 |
| 15分 | **ワーク３**  ・「当時気にしていたところ」  「注意されていたところ」を  「いいところ」として、とらえ直す。 | ◎ワーク2の「当時気にしていたところ」「注意さ  れていたところ」を「いいところ」として見方を変えることで、多面的に捉えることができるようになることをねらいとする。  ・リフレーミングについて説明する。  ・個人でリフレーミングした内容を付せん紙に書き出す。  ・グループ内で、ワーク２で使用した模造紙に付せ  ん紙を貼り付けながら、自由に話し合う。 | ワーク２の模造紙  付せん紙（黄）  資料（参加者の様子を見て配付する。） |
| 20分 | **ワーク４**  ・子どもについて見つめ直し、気になるところをリフレーミングする。 | ◎私たちの子どもを見つめ直す（いいところ・気に  なるところ等）ことで、子どものありのままを受け入れてあげられるように意識していくことをねらいとする。  ・子どものいいところ（黄）や気になるところ（青）を付せん紙に書き出す。  ・グループ内で模造紙に付せん紙を貼り付けなが  ら、気になるところをリフレーミングする。 | 付せん紙（青・黄）  模造紙 |
| 10分  **まとめ** | **ふりかえり**  ・感想を記入する。  ・グループ内で発表し、共有  する。 | ◎印象に残ったことや思ったことをワークシート  に記入することで、活動を振り返り、自分自身の意識の変化や高まりに気付くことができることをねらいとする。 |  |